

部長表彰 優良工事

建築工事課

工 事 名	令和5年度 焼津中央高等学校管理教室棟新築工事（建築）
工 期	令和6年3月19日 ～ 令和7年9月12日
工事概要	管理教室棟 鉄骨造 4階建 延床面積 4,319㎡ 渡り廊下A 鉄骨造 平屋建 延床面積 21㎡ 渡り廊下B 鉄骨造 平屋建 延床面積 21㎡ 上記に係る建築工事一式（外構工事含む。電気・機械設備工事は別途。）
受 注 者	株式会社橋本組 （焼津市本町 2-2-1）
技術者名	監理技術者 青木 俊充（あおき としみつ）
表彰理由	本工事は、焼津中央高等学校管理教室棟の老朽化に伴い、新校舎を建築した本工事は、既存校舎に囲まれた狭小な敷地に4階建ての校舎を建設する計画であり、生徒ほか施設利用者への安全確保と、学校行事に合わせた工程調整が求められる難度の高い工事である。 工事エリアの制約により大型重機の配置が限定される中、技術者は鉄骨建方において重機配置と建方順序を綿密に検討し、重機転倒防止のため吊り能力に余裕を持たせた大型クレーンを選定するなど、安全性を最優先とした施工管理を実践した。 さらに、本工事は地下水位が高い現場条件を踏まえ、EVピットに二重防水を施し、打継ぎ部である外壁梁型上部には防水施工を施工するなど、防水性能の確保に工夫を凝らした。 加えて腰壁部には経年劣化による躯体の中性化抑制と防かび効果を備えた微弾性塗料を塗布し、建物の耐久性向上に寄与した。 同時に、会社主催のインターンシップや現場見学会の実施に加え、発注者主催の在校生見学会や建築職員研修への協力など、建設産業のイメージアップにも積極的に貢献した。 このように、本工事は、施工の安全性、防水性や耐久性の向上、建設産業の魅力発信等について優れた技術力・指導力を発揮し、優れた出来映えとなった。

写

真

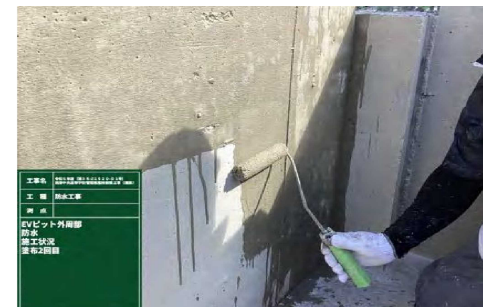
令和5年度 焼津中央高等学校管理教室棟新築工事（建築）



外観（完成写真）



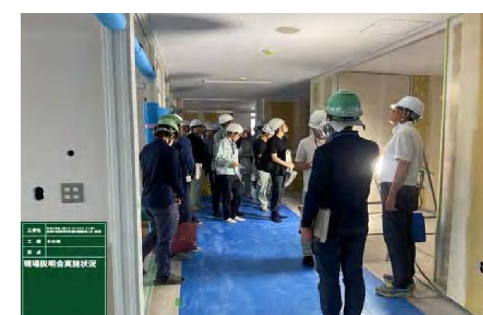
一般教室（管理教室棟）



二重防水の施工状況



腰壁部劣化対策施工

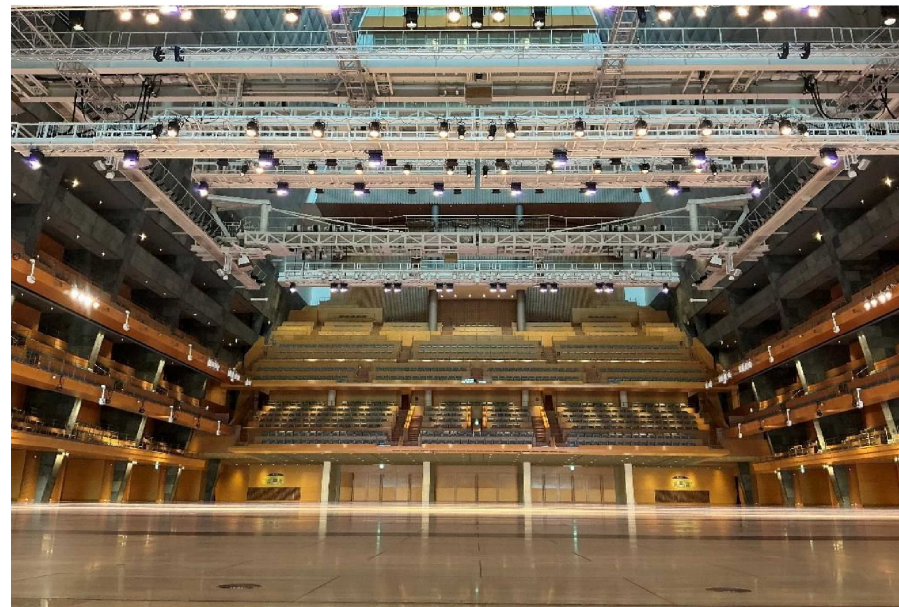


現場見学会

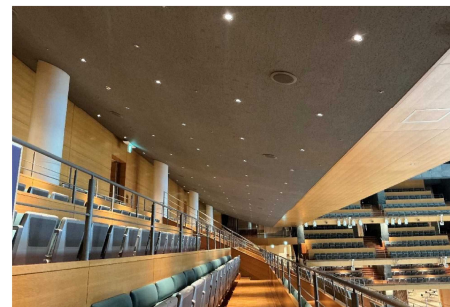
部長表彰 優良工事

設備課

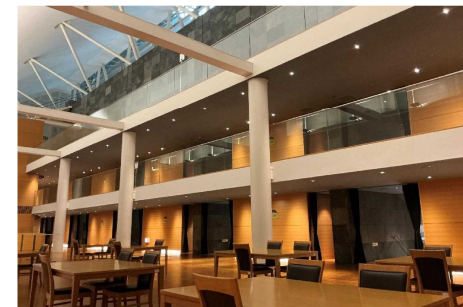
工 事 名	令和6年度 グランシップ大ホール照明設備改修工事
工 期	令和6年10月11日 ～ 令和8年3月19日
工事概要	グランシップ：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上12階・地下2階建 60,630㎡ 大ホール アリーナ：1,720㎡ 座席数：4,626席（全席） 大ホール及び付随する共用部1～7階における照明設備の改修（LED化） 上記に係る電気設備工事一式
受 注 者	シズデン・高橋電気工業・近和電業特定建設工事協同企業体 （静岡市駿河区曲金5-17-5）
技術者名	監理技術者 出口 和弘（でぐち かずひろ）
表彰理由	本工事は、グランシップの大ホールに設置されている照明設備の改修（LED化）を図るものである。 本工事は、休館期間わずか3ヶ月の間に大ホール内外の様々な箇所に設置されている照明設備を改修するものであり、各種イベントに対応した照明設備の仕様や配置・取付角度の変更要望に応え、大ホールの箇所ごとに工事タイミングを調整するという難易度の高い工事であった。 本施工者は、ホール内の棚足場にLEDテープライトを取付けることで作業員や施設管理者の動線の安全を確保するとともに、現場事務所周りにグランシップのイベントの掲示を行い、照明器具のLED化による電力量削減量が見える化して施設利用者や県民にアピールすることで現場のイメージアップに寄与した。 また、施設管理者のみならず照明操作を担当するスタッフに対しても簡易操作説明書を用いて操作説明会を実施し、引渡し後の運用を円滑に行える体制を築いた。 よって、本工事は本県の建設業の発展に大きく貢献したものと認め、部長表彰の優良工事として推薦する。



内観（完成写真）



客用照明器具（大ホール）



ホワイエ照明器具（大ホール）



LED テープライト



電力量削減の見える化

部長表彰 優良工事

設備課

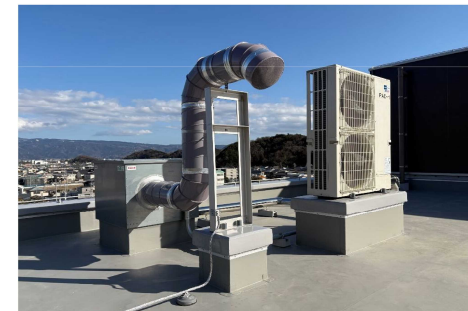
工 事 名	令和4年度 沼津商業高等学校校舎棟新築他工事（機械設備）
工 期	令和4年10月25日 ～ 令和8年2月27日
工 事 概 要	校舎棟 鉄骨造 5階建 延床面積 9,504㎡ 渡り廊下 鉄骨造 平屋建 延床面積 35㎡ 上記に係る機械設備工事一式
受 注 者	片野設備株式会社 （三島市大宮町3-3-12）
技 術 者 名	監理技術者 伊藤 明人（いとう あきひと）
表 彰 理 由	本工事は、沼津商業高等学校の校舎棟新築に係る機械設備工事である。 本工事は、施設を利用しながらの工事であったため、学校運営への影響が最小限になるよう配慮が必要であり、工程的な制約が特に厳しい中で、限られた工期内に確実に工事を完成させる必要があった。 施工者は、長期間にわたり多くの課題や要望に対して協力的に対応し、学校運営と工事完遂を両立させた。 特に、埋設配管損傷防止に向け試掘調査の計画作成と鉄管・ケーブル探知機による事前調査を徹底し、安全で的確な掘削施工を実現した。 換気設備の外壁貫通部のための「つば付きダクト」を現場製作し、高度な侵入水防止対策を施した。また、屋外排水設備にはボックス式パネル土留め工法を採用し、既存部分への影響を抑制する工夫を行った。 さらに、3DCADの活用により水栓やバルブの位置を分かりやすく示し、他の施工者や学校管理者との調整を円滑に進めた。 災害による工期延長を乗り越え、誠実かつ的確な管理により、延長した工期内に確実に工事を完成させた。 よって、本工事は本県建設業の発展に大きく貢献したものと認め、部長表彰の優良工事として推薦する。



西面外観（完成写真）



屋上（空調室外機）



屋上（室外機設置・排気ダクト）



3階屋上（受水槽・消火設備）



現場見学会